



レポートのテストとデバッグ

次のトピックで、レポートのテストおよび一般的な問題とエラーの解決に使用できる手順について説明します。

- 「レポートのテスト」(P.4-1)
- 「一般的な問題およびエラー メッセージ」(P.4-2)

レポートのテスト

レポートをテストするには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** レポートおよびそれに関連した `.properties` ファイルを `/opt/CSCOppm-gw/etc/pollers/user` ディレクトリに保存します。
- ステップ 2** Prime Performance Manager GUI で、[Reports] を選択し、[Reports Status] タブをクリックします。
- ステップ 3** レポートのリストを下にスクロールして、自分のレポートを探します。
- ステップ 4** レポートを有効にする間隔をオンにして選択し、[Save] アイコンをクリックします。
これでそのレポートはアクティブになります。
- ステップ 5** レポートに関連付けられたレポート カテゴリに移動し、レポートをクリックします。
- ステップ 6** エラー メッセージが表示されていないか確認します。
- ステップ 7** Cisco Prime Performance Management レポートの相互起動をセットアップしている場合は、次の手順を実行します。
 - a. Cisco Prime Network Vision にログインします。
 - b. ネットワーク マップを起動します。
 - c. 相互起動がセットアップされているデバイスまたはネットワークの場所を探します。
 - d. 相互起動ポイントを右クリックします。
 - e. NetworkVision のデバイス ショートカットに [Performance] の選択 ([Performance] > [Device Reports] など) があることを確認します。
 - f. [Device Reports] をクリックし、Cisco Prime Performance Manager レポートが起動することを確認します。
 - g. Prime Network から相互起動するために設定したレポートが使用可能であり正しく動作することを確認してください。

一般的な問題およびエラー メッセージ

この項では、レポートを実行する際に発生する可能性のある一般的な問題およびエラー メッセージの一覧を示し、問題を解決する方法に関する情報を提供します。

エラー メッセージを確認するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [System] メニューから、[Messages] を選択します。
 - ステップ 2** エラー メッセージだけを表示するには、[Error] をクリックします。
 - ステップ 3** コンソール ログを表示するには、[System] メニューから [Logs] を選択してから、[Console] を選択します。
-

不正な MIB 変数

自分のレポートで不正な MIB 変数が使用されると、エラー メッセージが表示されます。不正な MIB 変数が `sgmConsoleLog.txt` または `messageLog.txt` ファイルに表示されます。これらのログ ファイルは、[System] -> [Logs] メニューおよび [System] -> [Messages] メニューでも表示できます。

MIB をチェックし、自分のレポート内の XML コードをチェックして、変数が正しく参照されていることを確認します。